

点滴灌水によるシイタケ発生促進（第2報）

—乾シイタケの品質—

1 研究のねらい

春のシイタケ発生期に散水に代わるほだ木への水分補給方法として点滴灌水法の開発を進めている。

今回は、点滴灌水が乾シイタケの品質に与える影響について調査を実施した。

2 試験方法と結果

(1) **試験方法**：矢巾町煙山において平成8年に中低温菌を植菌したほだ木を用い、自然降雨のみの無処理区、点滴灌水区、散水区の3試験区（各区45本）設けた。発生期に灌水を行いきのこを採取し、乾燥後には大きさ及び白、茶、黒の各色沢に選別を行った。

なお、散水は1回1時間とし点滴灌水は18ℓタンクが空になる約6時間、それぞれ14回灌水を行った。雨量換算で点滴灌水区は50.4ℓ、散水区では210ℓの水を使用した。

(2) **試験結果**：ほだ木1m³当りの乾燥重量は、点滴灌水区、散水区ともに無処理区の約10%増の4.5kgとなった。発生個数は無処理区が1m³当り1171個、点滴灌水区が1292個、散水区が1249個となった。（下表参照）

色沢については、価格面で有利な白色の個数が点滴灌水区で散水区の約4倍選別された。

大きさ別では、傘の直径が6.4cm以上の個数は点滴灌水区と散水区はほぼ同数であった。

3 今後の進め方

本試験の結果、散水ほど大量の水を使用しない点滴灌水による方法でもシイタケの発生促進及び乾燥後の品質向上に対して見通しがついた。

今後は灌水量と発生量及び品質の継続調査を実施するとともに、灌水量と発生量の点滴灌水の経済的効果も試算を行う予定である。



点滴灌水の状況

表. 色沢別・大きさ別内訳

(1m³当り個数)

大きさ(cm)	6.4以上			6.3~4.3			4.2~2.7			2.6以下	計 (内、白)
	白	茶	黒	白	茶	黒	白	茶	黒		
無処理区	41	86	7	37	424	145	41	145	223	22	1171 (119)
点滴灌水区	22	134	83	22	461	97	22	314	105	32	1292 (66)
散水区	3	188	40	6	329	265	6	206	163	43	1249 (15)

(担当 特用林産部 主任専門研究員 小原孝文)

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割字清水 560-11 TEL 019-697-1536
 岩手県林業技術センター FAX 019-697-1410
 ホームページアドレス <http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>